

上海市デイサービスの規制緩和

上海市民生局は今年8月、市区のデイサービス展開に向け、「上海市市区老人デイサービス施設管理方法」を制定しました。2002年より15年間実施してきた、「上海市老人デイサービス施設管理方法」の一部規定は、明らかに実務レベルでの発展に遅れていたとして、機能性や運営管理方式等の新たな制定を求めました。

具体的な内容として、介護サービスの強化や人員配置基準の改定、そしてデイ開設までの複雑な許認可取得工程の見直し等が新たに盛り込まれました。更にはデイサービスの名称は、今までの「老人デイサービス施設」から「市区老人デイサービス施設」と変更されました。区内での委託事業としての養老機能強化も図っていきます。また送迎範囲は半径1000m前後とし、人員要件は1.7から1.8に緩和されました。介護職員と専門職員（介護事業2年以上の経歴や専門資格を有する者）は総数3名から開設が可能となったほか、介護職員兼務も認められます。

また、実務内容にはご利用者様への心理ケアが追加されたほか、医療サービス連携が必須となりました。サービス提供時は需要に応じ、緩和が

利用者の選択肢拡大へ

可能となりました。また受入れ体制として、従来は不可だった認知症等重度要介護者や自立困難な独居高齢者の優先的受入れも実施されます。

一方、経営レベルでは一定以上条件を満たした施設への運営補助金や免税、総合責任保険加入等、民間企業にとっても嬉しい政策が追加されました。



中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス総経理 稲田 義人

著者プロフィール
 ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本語介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。

以上のように、政府が市場を積極的に解放することによって民間企業も参入しやすくなり、施設数も増える事が想定され、ご利用者様が選択できる

一方、私が思う懸念材料として人材不足や人材育成、また適正なサービスが行われているか等、施設教育体制や政府監査機能の質向上も急務に感じます。